

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】特開 2005-199002 (P2005-199002A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-029
 【出願番号】特願 2004-35755 (P2004-35755)
 【国際特許分類】

A 4 5 C 13/30 (2006.01)

【F I】

A 4 5 C 13/30 N
 A 4 5 C 13/30 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 4 日 (2006.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伸縮自在なストラップ装置であって、

第 1 スリット及び第 3 スリットが形成され、第 1 スリットと第 3 スリットの間に画成された第 1 中間部材を有する第 1 ガイドと；

一端が第 1 中間部材に連結されたストラップと；

第 1 ガイドと対向して移動可能に配置され、第 2 スリット及び第 4 スリットが形成され、第 2 スリットと第 4 スリットの間に画成された第 2 中間部材を有する第 2 ガイドと；を備え、

ストラップの他端が第 2 スリット及び第 4 スリットを通過して第 1 ガイドの方に戻り、次いで第 1 ガイドの第 3 スリット及び第 1 スリットを通過して第 2 ガイドの方に戻り、次いで第 2 ガイドの第 2 スリットを通過しているストラップ装置。

【請求項 2】

第 2 中間部材の第 2 スリット側の面が第 4 スリット側の面よりもストラップの延在方向に関して傾斜している請求項 1 に記載のストラップ装置。

【請求項 3】

伸縮自在なストラップ装置であって、

ストラップが通過可能な開口が形成されたリングと；

上記リングと対向して移動可能に配置され、第 2 スリット及び第 4 スリットが形成され、第 2 スリットと第 4 スリットの間に画成された中間部材を有するガイドと；を備え、

ストラップの一端がリングまたは中間部材に連結されたストラップと；

ストラップの他端が第 2 スリット及び第 4 スリットを通過してリングの方に戻り、次いで上記開口を通過してガイドの方に戻り、次いでガイドの第 2 スリットを通過しているストラップ装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のストラップ装置を備えるバッグ。